

嘱託教育職員(教授)

南里 宏樹

■ 学歴

1. 1981年 九州大学医学研究科生理系専攻（博士課程）単位取得満期退学

■ 学位

1. 1983年 医学博士（九州大学医博甲五九八号）

■ 研究分野

1. 基礎栄養学
2. 栄養代謝学
3. 生化学

■ 研究キーワード

1. 酸化ストレス
2. 抗酸化防御機構
3. 糖毒性

■ 研究課題

1. 栄養が健康に及ぼす影響を、おもに活性酸素による酸化ストレスと高血糖による糖毒性に注目して、生化学・細胞生物学的手法を用いて解析する。特に、高血糖による血管内皮細胞の機能障害を、活性酸素に対する抗酸化防御機能との関連において検討する。
- 2.

■ 担当授業科目

1. 基礎栄養学Ⅰ（1年生後期）（栄養学科）必修
2. 基礎栄養学Ⅱ（2年生前期）（栄養学科）選択
3. 栄養学実習（2年生後期）必修
4. 管理栄養士演習Ⅰ（4年生通年）必修
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【基礎栄養学ⅠおよびⅡ】</p> <p>今年度はコロナ感染がかなり落ち着いてきたので、講義はすべてパワーポイントを利用した対面授業で実施した。講義で使用したスライドは、すべて印刷して配付した。また、基礎栄養学の重要項目の練習問題集を配付し、授業の終わりに5分程度、その日の講義内容に関する練習問題を学生に答えさせるようにした。管理栄養士国家試験の過去問題(2018年～2023年)の解説集も配付し、日ごろの予習復習に役立つようにした。</p>
2.	<p>授業科目名【栄養学実習】</p> <p>今年度は、すべて対面で実施したが、実習によっては、学生自身が測定するのではなく、教員が実際の測定のやり方をデモで示したり、測定の実施者を各班で一人に絞ったりして、実習中の”密“、”会話“をできるだけ少なくするようにした。そのため、実習の目的の一つである共同作業という点では、必ずしも十分な成果が上げられなかった。それぞれの実習について、その栄養学的意義について考えさせるためのレポートを課し、1, 2年次の基礎栄養学の復習ができるようにした。</p>
3.	<p>授業科目名【管理栄養士演習Ⅰ】</p> <p>管理栄養士演習Ⅰは8人の教員が分担する栄養学科4年生のための演習で、わたしは「基礎栄養学」とその「応用問題」を担当した。2011年～2023年の基礎栄養学に関する管理栄養士国家試験の問題について、分野別に分類し、分野ごとに10～13年分の問題をまとめて解くやり方で演習を実施した。その際、問題に関連する周辺事項を幅広く学習できるように、問題についての詳しい解説や重要事項をまとめたプリントを配布した。演習と自主講義と併せて、前期10回(うち自主講義8回)、後期8回(うち自主講義6回)実施した。また、夏休み期間中に夏期対策を3日間(5コマ)、後期終了後、国試までの間に直前対策を2日間(2コマ)実施した。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等(任期)
1.	1977年4月～現在に至る	日本生化学会	
2.	2003年5月～現在に至る	日本栄養・食糧学会	
3.	2014年1月～現在に至る	日本栄養改善学会	

■ 研究業績等に関する事項(2023年度)

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
(著書)					
1.					
2.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					

1.					
2.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任期 期間等	会議・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			
2.			
3.			